

病理診断科プログラム

兵庫医科大学病院・病理診断科では新専門医制度基準の研修プログラムでの研修を実施する。以下にその概要を記載する。詳しくは病院ホームページのプログラムを参照。

【プログラムの理念と目標】

兵庫医科大学病院・病院病理部を基幹施設とする専門研修プログラムでは、豊富な指導教官による充実した指導と多彩な症例を経験することにより、深い理解に基づく確実な診断が行える病理専門医を育てることを目指している。ある程度の病理診断の基本が得られた時点で、各領域において専門的知識を持つ病理医に一定期間密着して指導を受けることで、幅広く深い知識に基づいた診断の流れを理解し身につけることができる。また、その知識・経験を定着させるために、多くの様々な検体の病理診断を集中して実践的に経験できるような期間を設けている。複数の指導医の連携のもとで専攻医を指導・評価し、専攻医の技能習得状況を客観的かつ正確に把握する。各専攻医を臨床からも同僚からも信頼される病理専門医として確実に育てていく。

本専門研修プログラムでは、診断技能のみならず、臨床検査技師や臨床医との連携や難解症例への対処法を習得することにより、地域基幹病院にて病理診断医として即戦力として活躍できる人材を育成することを目標としているが、病理関連の教育者や研究者などといった幅広い進路にも対応できるように、それに関連した様々な経験を積み知識・技能を得ることができるよう配慮している。専攻医は、常に研究心・向上心をもって検討会やセミナーなどに積極的に参加し研鑽を積み、弛まず自己学習を続けるとともに、自己の能力の限界を正しく認識し、対象が自分で判断できるレベルを超えると判断した時は、指導医や専門家の助言を求めることができるようになってもらいたい。病理に関連する設備や機器についても知識と関心を持ち、病理の検査技師に対する適切な指導を行い、剖検室や病理検査室などの管理・運営にも支障がでないようになっていただきたい。

【レジデント（卒後3～5年目）カリキュラム】

本プログラムでは、専攻医が確実に病理専門医の資格を得ることができるよう配慮している。大学院への進学を希望する専攻医に対しても病理専門医資格と共に医学博士も取得できるよう支援体制を整備している。その場合には、基幹施設や連携病院での解剖を含む病理研修を行いながら大学での研究活動も行うことが必要となることから、無理なく消化できるようなプログラムの策定に配慮する。

本プログラムでは基幹病院と連携病院での研修をバランスよくすることとしている。いろいろなパターンを想定しており、専攻医と相談の上、プログラムを実施する（研修パターン・各連携施設の詳細については病院ホームページのプログラムを参照）。この間に30例以上の病理解剖の執刀を主体的に経験し、また5,000例以上の病理組織診断と1,000例以上の細胞診断を自ら行い、且つ50例以上の術中迅速診断の経験を積む事により、病理研修開始後3年を目標にして病理専門医資格を取得する。専門医取得には学会・研究会におけるまたは学術雑誌上での病理組織学的・細胞学的な検討を含む症例報告等を経験する必要があるため、できるだけ多くの発表の機会を持つように努める。

【卒後6年目以降のカリキュラム】

専門医取得後、大学に残る場合は、病院助教（仮称）・助教などの身分で全般的な知識と診断経験をさらに深める。細胞診断のさらなる研鑽を積み、病理研修開始後4年を目標に細胞診専門医の資格を取得する。レジデント期間を含めて自らの専門領域を持つように努め、関連臨床科との緊密な連携の下に、その領域における専門的な診断業務や基礎的・臨床的研究が行えるように努力する。

関連病院の病理診断部門において勤務することも可能である。また、レジデント期間を含め、夜間大学院生としてのコースを選択でき、専門医取得後に病理業務を継続しながら大学院生として研究に従事することも可能である。

【カンファレンス・症例検討会等】

月曜：抄読会、組織診・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し、術中迅速診断、病理解剖
泌尿器科病理カンファレンス（毎週）
上部消化管合同カンファレンス（隔週）、大腸癌 Cancer Board（月1回）
火曜：組織診・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し、術中迅速診断、病理解剖
乳腺・病理・放射線合同カンファレンス（毎週）
水曜：組織診・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し、術中迅速診断、病理解剖
剖検症例臨床病理カンファレンス（毎週）
木曜：組織診・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し、術中迅速診断、病理解剖
金曜：組織診・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し、術中迅速診断、病理解剖
皮膚臨床・病理カンファレンス（毎週）
土曜：1・3週は組織・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し

【連携病院】

神戸大学医学部附属病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、関西労災病院、近畿中央病院、兵庫県立西宮病院、製鉄記念広畑病院、明和病院、市立川西病院、神戸百年記念病院、高砂市民病院、市立伊丹病院、宝塚市立病院、市立芦屋病院、国立病院機構大阪医療センター、淀川キリスト教病院、国立循環器病研究センター、JCHO 大阪病院、千船病院、大阪府立急性期・総合医療センター、市立豊中病院、大手前病院、りんくう総合医療センター、八尾市立病院、大阪府立母子保健総合医療センター、医誠会病院、守口敬任会病院、近畿大学医学部奈良病院、徳島県立中央病院

【関連病院】

JCHO 大阪病院、宝塚市立病院、明和病院、千船病院、製鉄記念広畑病院、等

【指導医】

主任教授： 廣田 誠一
 辻村 亨
教授： 中正 恵二
臨床准教授：塚本 吉胤
講師： 松田 育雄、井出 良浩、中込 奈美、山根木 康嗣
助教： 土田 泰昭、西浦 弘志

【プログラム責任者】

主任教授（部長）：廣田 誠一

【問い合わせ先】

廣田 誠一 TEL：0798-45-6667 E-mail：hiros@hyo-med.ac.jp

または

教室秘書（河上） TEL：0798-45-6667 E-mail：byoribu@hyo-med.ac.jp